

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（9月末現在）

令和5年(2023年)11月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 《計1,542校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校762校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校469校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校245校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校66校

3 調査対象期間

令和5年（2023年）4月～令和5年（2023年）9月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数	3. 解消に向けて取組中の件数		4. その他	
		・ 心理的、物理的的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過している。 ・ 心身の苦痛を感じていない。	・ 心理的、物理的的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間(3か月程度)経過していない。	・ 心理的、物理的的行為が止んでいない。 ・ 心理的、物理的的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過しているが、心身の苦痛を感じている。		
令和5年度 第2回 (4月～9月)	17,267	14,919 (86.4%)	2,120 (12.3%)	206 (1.2%)	22 (0.13%)	402 (26.1%)
小学校	13,971	12,287 (87.9%)	1,516 (10.9%)	158 (1.1%)	10 (0.07%)	144 (18.9%)
中学校	2,723	2,219 (81.5%)	459 (16.9%)	39 (1.4%)	6 (0.2%)	110 (23.5%)
高等学校	494	348 (70.4%)	132 (26.7%)	8 (1.6%)	6 (1.2%)	97 (39.6%)
特別支援	79	65 (82.3%)	13 (16.5%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	51 (77.3%)

※（ ）は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合